

提 言 書

令和4年5月

大 津 市 議 会

本市議会では、議会版実行計画である大津市議会ミッションロードマップ2019のテーマの一つとして、「若者の議会への関心と投票率向上の仕組みづくり」を掲げ、議論を進めています。

当テーマについては、学生をはじめとする若者の政治に対する関心や興味の低さ、低投票率の状況を踏まえ、市政や議会への関心と投票率の向上を図るため、これまでの取組の検証を始め、議場見学などのより市民ニーズを反映するための方策やIT等を活用した多様な仕組みを創出するため、平成29年6月に、政策検討会議を立ち上げ、これまで検証や議論を進めてまいりました。

そして、今般、市役所に隣接する滋賀県立大津商業高等学校に在籍する1年生の生徒の皆さんとオンラインによる意見交換会を実施したところ、若者ならではの視点から、若者の投票率を向上させるために若者自身が必要と感じる事項について、様々な意見を聴くことができました。

もとより投票率の向上のための特効薬などはなく、これを実現させるためには、関係機関がそれぞれに果たし得る役割を全うし、諸施策に地道に取り組んでいくほかありません。

今回の高校生の意見の中には、例えば、議員との交流の機会を増やすことにより、若者が政治を身近に感じることができるようになること等のように、我々市議会が実行することができる事項も含まれており、こうしたことについては市議会が今後しっかりと役割を果たしてまいりたいと考えております。

については、選挙管理委員会の所掌事務に係る若者からの意見を踏まえ、貴委員会に対して市議会として下記のとおり提言しますので、貴委員会において内容を十分に確認され、今後より一層取組を推進されるようお願いいたします。

なお、本件提言については、原則として令和5年2月に取組の実施状況等について報告を求める予定ですので、あらかじめ御承知おきください。

記

- 1 投票所の雰囲気は暗く、若者が近寄りたさを感じていることから、これを改善するための方策を講じること。
- 2 若者の間では、投票所に足を運ぶために時間が割かれることへの抵抗感があるという意見もあることから、投票の利便性を向上させる一つの方法として、商業施設及び文教施設等の人が集まりやすい場所への期日前投票所の設置を拡大することを検討すること。
- 3 若者の間では、候補者のことをもっと気軽に知ることができれば投票に行く可能性

が高まるのではないかという意見もあることから、選挙期間中における選挙管理委員会からのLINEによる情報提供を拡充して、SNSを通じて選挙公報を気軽に閲覧できるようにすることを検討すること。

- 4 上記の観点から、インターネットを通じた投票を可能とすることについて、国に対して働きかけること。